

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	血小板製剤の細菌スクリーニングが重症患者の輸血後血小板増加に及ぼす影響 単施設観察研究		
1. 研究の目的と方法	本研究では、集中治療室で投与された血小板製剤（血小板を補うために使用する輸血用の薬）と関連する既存の診療情報および輸血部門の記録を用い、細菌が混入していないかを確認する検査を導入した前と後で、輸血後 24 時間以内に血小板がどの程度増えたかどうかを評価します。 これにより、この検査が重症の方や手術前後の患者さんを含む実際の診療における輸血の効果にどのような影響を与えるかを明らかにし、今後のより適切な輸血治療につながる知見を得ることを目的としています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2028 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	(1) 2022 年 1 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日までに東京慈恵会医科大学附属病院集中治療室に入室し、血小板製剤の輸血を受けた方 (2) 輸血時年齢が 18 歳以上の方		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、体格、血液型、病気の種類や治療の経過、輸血に関する情報血液検査の結果他の輸血や治療の状況、治療の経過・転帰	
	(4) 情報の取得の方法	通常の診療の過程で電子診療録（カルテ）、ICU 部門システム、および輸血部門記録に記録・保存されたデータを抽出して使用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 附属病院集中治療部・教授
		氏名	藤井 智子
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：倫理委員会承認後（2026 年 8 月末頃～予定）		

【問い合わせ先】	東京慈恵会医科大学 附属病院 集中治療部 研究責任者 教授 藤井 智子（フジイ トモコ） 窓口担当者 助教 吉本 史菜（ヨシモト フミナ） 電話番号 03-3433-1111（代表）、内線：4070 対応時間 平日 9:00 ～ 17:00（休診日を除く）
-----------------	---

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。